

「星の庭」多世代集う場に

社会医療法人北斗 帯広の施設に開設



北斗が運営する福祉施設に面して整備されたガーデン「星の庭」

い」とあいさつした。

帯広市の社会医療法人北斗（鎌田一理事長）が展開する医療と介護の新たな提携体制「北斗福祉村」（稲田町基線2）に25日、ガーデン「星の庭」がオープンした。庭に隣接する福祉施設の利用者がリハビリや園芸療法の場として使うほか、地域住民が集う交流の場として活用していく。

北斗病院の開院25周年記念事業と合わせて行われたセレモニーには、管内外の自治体や医療関係者ら約70人が出席。鎌田理事長は「地域医療構想の取り組みの一つとして園芸療法を中心に計画した。今後さまざまな形で地域に広がっていき

約3千平方メートルのガーデンには、1600株の宿根草や野菜、果樹などを栽培。高齢者や車椅子利用者でも負担なく園芸作業ができるように、花壇を高めに設置したり、園路の幅を広めにするなど工夫した。ガーデンに隣接する介護老人保健施設「かけはし」の園芸療法士で、ガーデンの設計に携わった剣持卓也さんは「近隣住民も含め、多世代が集える庭にしていきたい」と話した。（正井晶子）